



学校のこれから通信 (岩成台中学校区) No.1

(発行) 令和8年1月28日
春日井市教育委員会事務局 学校教育課
TEL : 0568-85-6149
Mail : gakko@city.kasugai.lg.jp

市では、子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、互いに認め合い、協力し合いながら成長し、社会性を身に付けていくためには、一定の学校規模を確保することが望ましいと考えています。

今後、子どもたちの数の減少により標準的な規模を下回る学校が増えていくことが想定される中、坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台の5つの中学校区にある学校について、学校の適正規模や適正配置の検討を進めています。

この通信では、岩成台中学校区における取組の進捗状況などを随時、お伝えしていきます。



お知らせ



岩成台中学校区と藤山台中学校区の合同の意見交換会を開催します！

- 1 日時 令和8年3月1日(日) 午前 10 時から正午まで
- 2 場所 東部市民センター 3階 多目的室
- 3 対象者 岩成台中学校区と藤山台中学校区の各学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者及び地域にお住まいの方
- 4 内容 (1) 岩成台・藤山台両中学校区の学校統合に向けた検討についての説明・質疑応答
(2) 参加者どうしによる意見交換(自由参加)

お子さま同伴での参加も可能です

託児もご利用いただけます

※ 託児の利用を希望される方は、2月24日(火)までに学校教育課までご連絡ください。

岩成台中学校区の現状と市の考え方

【岩成台中学校】

生徒数は、昭和62年度の692人をピークに、令和19年度では、**78.6%減少の148人**と推計しています。

クラス数は、令和19年度には全ての学年で2クラスになると推定しています。

【岩成台小学校】

児童数は、昭和55年度の750人をピークに、令和13年度では、**78.3%減少の163人**と推計しています。

クラス数は、令和13年度には全ての学年で1クラスになると推定しています。

【岩成台西小学校】

児童数は、昭和60年度の734人をピークに、令和13年度では、**71.9%減少の206人**と推計しています。

クラス数は、令和13年度には**1年生と2年生がそれぞれ1クラス、3年生から6年生までは2クラス**になると推定しています。

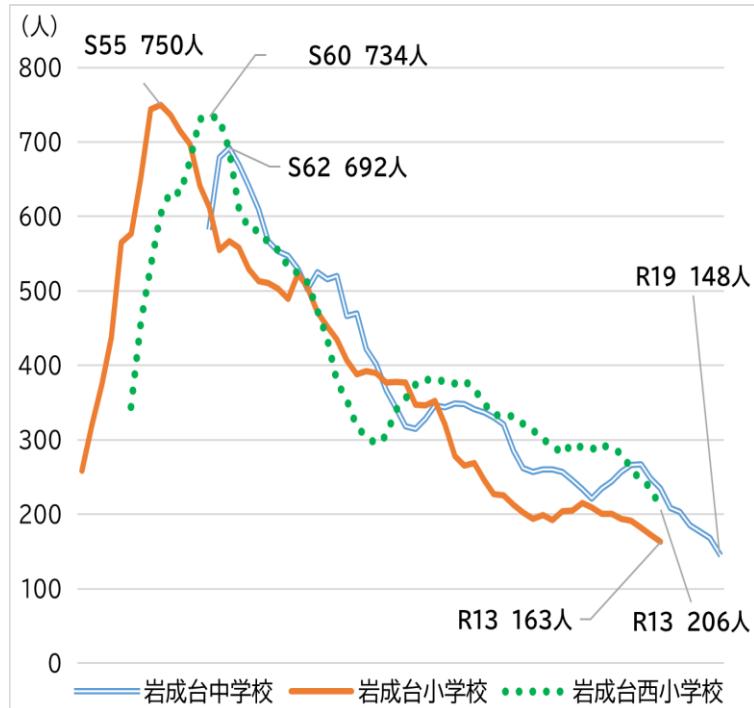


図:岩成台中学校区の各学校の児童生徒数推計
(S47からR19まで)

市は子どもたちにとってより良い教育環境の実現を図るため、クラス替えができるように、1学年に 2 学級以上あることが必要であると考えており、学校統合に向けた検討を進めています。

これまでの取組

R7.2	「小学校・中学校の適正規模等の基本的な考え方」の策定	小中学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方を示しました。
R7.4~5	PTA 役員への説明・意見交換	市の考え方を説明し、意見交換を行いました。
R7.5~7	アンケート調査	保護者、児童生徒及び地域の方を対象にアンケートを実施しました。
R7.9~10	第 1 回意見交換会	各小中学校で、アンケート結果を報告し、意見交換を行いました。
R7.11	第 2 回意見交換会	第1回意見交換会を踏まえ、中学校区全体で意見交換を行いました。

意見交換会

第1回意見交換会は、各小中学校で開催し、アンケート結果の報告とともに、「岩成台中学校区の小中学校が適正規模や適正配置となるように検討を進める。」という市の考えを示し、意見交換を行いました。

第2回意見交換会は、岩成台中学校区全体で開催しました。「岩成台中学校区は、中学校区内の小学校を統合した場合でも、令和 22 年度ではクラス替えができない学年があるため、課題の解決とはならないことから、中学校間の距離が最も近い藤山台中学校区との学校統合に向けて検討を進める。」という市の考えを示し、意見交換を行いました。

○主な質問と回答

Q1 今後の具体的な検討の進め方を教えてほしい。

A1 岩成台中学校区と藤山台中学校区で合同の意見交換会を開催します。その後、保護者や地域の代表の方、学校関係者などで懇談会を組織し、統合の必要性を含め、より具体的な内容について意見交換を行っていきます。

Q2 小中一貫校についてどう考えているか。

A2 小中一貫校については、魅力ある学校づくりの1つの手法であると考えています。皆様にメリット、デメリットを示し協議したいと考えています。



第2回意見交換会

Q3 仮に統合となった場合、子どもの家はどうなるのか。

A3 子どもの家は、統合後の学校において運営していくことが望ましいと考えています。今後、学校統合の検討を進めいく中で、子どもの家の担当部署と連携し検討していきたいと考えています。

Q4 仮に統合となった場合、学校跡地はどうなるのか。

A4 子どもたちの教育環境の向上を第一に考えて取り組んでおり、跡地については、統合の取組とは別に、市全体で検討を進めています。

※ 他の質問や回答は、右下のQRコードから意見交換会の会議録でご覧いただけます。

他中学校区の状況

藤山台	11月に第2回意見交換会を開催しました。今後、3月1日(日)に岩成台中学校区との合同の意見交換会を開催します。
高森台	12月に第2回意見交換会を開催しました。
石尾台	12月に第2回意見交換会を開催しました。今後、2月11日(水・祝)に保護者の皆様を対象とした意見交換会を開催します。
坂下	11月に第2回意見交換会を開催しました。現在は「坂下中学校区における学校統合に向けた基本方針」の策定を進めています。今後は2月9日(月)から3月11日(水)まで基本方針(中間案)に対する市民意見の募集(パブリックコメント)を実施する予定です。

学校の適正規模や適正配置に関する市の基本的な考え方や、これまでに実施したアンケート結果及び意見交換会の会議録を市ホームページ(右に記載の QR コード)に掲載しています。

